



FlexVolのテープバックアップおよびリストア 処理を監視する ONTAP 9

NetApp
December 20, 2024

目次

FlexVolのテープバックアップおよびリストア処理を監視する	1
FlexVolのテープバックアップおよびリストア処理の監視の概要	1
イベントログファイルへのアクセス	1
ダンプイベントログメッセージおよびリストアイベントログメッセージの形式とは	2
イベントロギングの有効化または無効化	4

FlexVolのテープバックアップおよびリストア処理を監視する

FlexVolのテープバックアップおよびリストア処理の監視の概要

イベントログファイルを表示して、テープバックアップおよびリストア処理を監視できます。ONTAPは、発生したバックアップおよびリストアの重大なイベントとその時刻を、コントローラのディレクトリにある `/etc/log/` という名前のログファイルに自動的に記録し `backup` ます。デフォルトでは、イベントロギングはに設定されてい `on` ます。

イベントログファイルを表示する理由には、次のものがあります。

- 夜間バックアップが成功したかどうかを確認しています
- バックアップ処理に関する統計の収集
- 過去のイベントログファイルの情報を使用したバックアップおよびリストア処理に関する問題の診断

イベントログファイルは、週に1回ローテーションされます。 `/etc/log/backup` ファイルの名前がに変更され、 `/etc/log/backup.0` ファイルの名前がに `/etc/log/backup.0` 変更され `/etc/log/backup.1` ます。ログファイルは最大6週間保存されます。したがって、最大7つのメッセージファイルと現在の `/etc/log/backup` ファイルを保持でき `(/etc/log/backup.[0-5])` ます。

イベントログファイルへのアクセス

ディレクトリにあるテープバックアップおよびリストア処理用のイベントログファイルには、ノードシェルでコマンドを使用して `rdfile` アクセスできます `/etc/log/`。これらのイベントログファイルを表示して、テープバックアップおよびリストア処理を監視できます。

タスクの内容

Webサービスへのアクセスを許可するアクセス制御ルールや、アクセス方法を使用して設定されたユーザアカウント `http` などの追加の設定では `spi`、Webブラウザを使用してこれらのログファイルにアクセスすることもできます。

手順

1. ノードシェルにアクセスするには、次のコマンドを入力します。

```
node run -node node_name
```

`node_name` はノードの名前です。

2. テープバックアップおよびリストア処理用のイベントログファイルにアクセスするには、次のコマンドを入力します。

```
rdfile /etc/log/backup
```

ダンプイベントログメッセージおよびリストイベントログメッセージの形式とは

ダンプおよびリストイベントログメッセージ形式の概要

ダンプイベントおよびリストイベントごとに、バックアップログファイルにメッセージが書き込まれます。

ダンプイベントログメッセージおよびリストイベントログメッセージの形式は次のとおりです。

```
type timestamp identifier event (event_info)
```

次に、イベントログメッセージ形式のフィールドについて説明します。

- 各ログ・メッセージは、次の表に示すいずれかのタイプ・インジケータから始まります。

タイプ	説明
ログ	ロギングイベント
DMP	ダンプイベント
RST	リストイベント

- `timestamp` イベントの日時が表示されます。
- ダンプイベントのフィールドには、`identifier` ダンプパスとダンプの一意のIDが表示されます。
`identifier` リストイベントのフィールドでは、リストア先のパス名のみが一意の識別子として使用されます。ロギング関連のイベントメッセージには、フィールドは含まれません `identifier`。

ロギングイベントとは

ログで始まるメッセージのeventフィールドは、ロギングの開始または終了を指定します。

次の表に示すいずれかのイベントが含まれます。

イベント	説明
Start_Logging	ロギングの開始、または無効化後にロギングが再びオンになったことを示します。
Stop_Logging	ロギングがオフになっていることを示します。

ダンプイベントとは

ダンプイベントのeventフィールドには、イベントタイプのあとにイベント固有の情報がカッコ内に表示されます。

次の表に、ダンプ処理で記録されるイベント、その説明、および関連するイベント情報を示します。

イベント	説明	イベント情報
開始	NDMPダンプが開始されました	ダンプレベルおよびダンプのタイプ
終了	ダンプが正常に完了しました	処理されたデータの量
中止	処理がキャンセルされました	処理されたデータの量
オプション	指定したオプションが表示されま す	NDMPオプションを含む、すべての オプションとその関連値
tape_open	テープが読み取り/書き込み用に開 いている	新しいテープデバイスの名前
tape_close	テープが読み取り/書き込みのため に閉じられている	テープデバイスの名前
フェーズ-変更	ダンプが新しい処理フェーズに入 っています	新しいフェーズの名前
エラー	ダンプで予期しないイベントが発 生しました	エラーメッセージ
Snapshot	Snapshotコピーの作成または検出	Snapshotコピーの名前と時刻
ベースダンプ	内部メタファイル内にベースダン プエントリが見つかりました	ベースダンプのレベルと時刻（増 分ダンプの場合のみ）

リストイベントとは

リストイベントのeventフィールドには、イベントタイプのあとにイベント固有の情報がカッコ内に表示されます。

次の表に、リストア処理に関して記録されるイベント、その説明、および関連するイベント情報を示します。

イベント	説明	イベント情報
開始	NDMPリストアが開始されました	リストアレベルとリストアタイプ

イベント	説明	イベント情報
終了	リストアが正常に完了した	処理されたファイル数とデータ量
中止	処理がキャンセルされました	処理されたファイル数とデータ量
オプション	指定したオプションが表示されま す	NDMPオプションを含む、すべての オプションとその関連値
tape_open	テープが読み取り/書き込み用に開 いている	新しいテープデバイスの名前
tape_close	テープが読み取り/書き込みのため に閉じられている	テープデバイスの名前
フェーズ-変更	リストアは新しい処理フェーズに 入っています	新しいフェーズの名前
エラー	リストアで予期しないイベントが 発生する	エラーメッセージ

イベントロギングの有効化または無効化

イベントロギングのオンとオフを切り替えることができます。

手順

1. イベントロギングを有効または無効にするには、クラスタシェルで次のコマンドを入力します。

```
options -option_name backup.log.enable -option-value {on | off}
```

`on` イベントロギングをオンにします。

`off` イベントロギングをオフにします。



イベントロギングはデフォルトでオンになっています。

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。